小学 1 年生 1 学期の作文の変化

○角谷 詩織¹・泉 真理²(非会員)

(¹上越教育大学大学院学校教育研究科・²附属幼稚園)

キーワード：小学 1 年生，作文

The Development of the Structures of First Grade Students' Compositions

Shiori SUMIYA¹, Mari IZUMI^{2#}

(¹Graduate School of School Education, Joetsu Univ. of Education., ²Kindergarten attached to Joetsu Univ. of Education)

Key Words: first graders, compositions

目 的

本研究では、小学 1 年生の 1 学期における作文の量的質的変化の様相を捉えることを目的とする。内田(1989)は、幼児期から児童期への移行期における作文が、会話体から文章体へ大きく変化すること、また、この変化は女子において早いことを示した。小学 1 年生は、どのようにして、書き言葉での表現力を身につけていくのか、文章量の増加、感情表現や詳細な情景描写等の出現や、文章構造などの質的な変化は、どの時期に生じるのか、また、これらの変化は相互に関連しているのかを、1 年生の 1 学期に注目して検討する。

方 法

対象 上越市内の小学 1 年生計 80 名（男子 42 名，女子 38 名）。

期間：2011 年 4 月 13 日～7 月 11 日。

方法 調査期間内に書かれた作文を全て収集した。各月を上旬（15 日まで）と下旬（16 日以降）に分割し、各期間の最も文字数の長い作文を分析の対象とした。作文は、基本的に学校で書かれるが、書かれた頻度やテーマは、クラスごと個人ごとに異なる。4 月の初回から数回は、教師が指定したタイトルや書き出しで作文を書くが、次第に、その日あったことについて、自分でタイトルを決めて作文を書くようになる。

結 果

文字数の変化 作文の字数として、4 月初回から数回は 10 字強、7 月下旬は 200 字前後と、約 20 倍の増加がみられる。各月の字数の平均について、月×性別×クラスの被験者内三元分散分析を行った。月×性別の有意な交互作用がみられ($F(3, 222) = 4.24, p < .01$)、男子は 4 月から 7 月まで文字数が増加するのに対し、女子は、4 月から 5 月下旬にかけて文字数が増加した。

観点別評価 個々の作文の全体的評価、文章の流れ、感情表現、詳細記述の 4 つの観点別に 4 段階で評価した。全体的評価について、時期×性別×クラスの被験者内三元分散分析を行った。その結果、月×性別の有意な交互作用がみられ($F(6, 450) = 2.41, p < .05$)、男女ともに、4 月上旬から 5 月下旬にかけて評価が上がるが、それは特に女子において顕著であった。他の観点においても、同様の傾向が見られた。各時期の文字数と全体的評価との間に有意な相関は見られなかった。

作文スタイルの変化 作文のスタイルを、6 つのタイプに分類した(1.ばらばら型, 2.羅列型, 3.前後型, 4.時系列・順序型, 5.包括型, 6.深まり型)。各時期におけるスタイルの割合をみると、4 月上旬・下旬は、男女とも羅列型が 50%以上を占めているが、女子は 5 月上旬、男子は 6 月下旬になると、包括型が 30%以上占めるようになった。さらに、6 月下旬になると、女子では、包括型は約 40%、深まり型は約 30%を占めるようになった。

考 察

本結果から、小学 1 年生の 1 学期に、作文の量的な変化だ

けでなく、質的な変化も見出すことができた。いずれの時期も、文字数と全体的評価との間に有意な相関が見られなかったことから、字数の多い作文が必ずしも高い評価を得るとは限らないことが示唆された。しかし、4 月から 5 月にかけて量的な変化が顕著にみられ、5 月から 7 月では、スタイルの変化がみられたことから、書きたい内容を思いつくまま書きだすことが、文章量の増加をもたらすとともに、その後の、ある程度の文章量が確保された段階での、書きたい事柄をコントロールしながら全体としてまとまりのある作文を書く段階への移行を支えることが示唆された。また、5 月下旬までの作文の評価が急激に上昇し、その後は安定することから、5 月までの書き言葉の表現力が、後々の作文のあり方に影響を及ぼす可能性も示唆された。さらに、本研究でも、文章量の増加、作文スタイルの変化は女子において早期にみられた。これは、内田(1989)と一貫した結果であった。

Fig. 1 作文スタイル(男子)

Fig. 2 作文スタイル(女子)